

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(首長・管理者向けトップセミナー関係)

○登録者情報

庄司 昌彦 (しょうじ まさひこ)

所在地 東京都

組織名・所属 役職 武蔵大学 社会学部 教授



略歴

- 2002年 中央大学大学院総合政策研究科博士前期課程修了
- 2002年 国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM) 研究員
- 2018年 国際大学 GLOCOM 主幹研究員・准教授
- 2019年 武蔵大学 社会学部 メディア社会学科 教授

○主な取組内容・実績

政府関連

- ・デジタル庁「マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤抜本改善ワーキンググループ」構成員
- ・総務省「自治体システム等標準化検討会（住民記録システム・税務システム・選挙人名簿管理システム）」座長
- ・総務省「地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会」座長
- ・厚生労働省「生活保護標準化等検討会」座長

地方公共団体関連

- ・千葉県 ICT アドバイザリー会議 座長
- ・仙台市情報アドバイザー
- ・江戸川区 DX アドバイザー
- ・三島市情報戦略アドバイザー
- ・行政デジタル改革共創会議（デッカイギ）in 横須賀 実行委員長

第 213 回国会 行政監視委員会 令和 6 年 2 月 19 日（月） 第 1 回

1. 行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する調査

（国と地方の行政の役割分担に関する件）

【参考人】

佐賀県多久市長	横尾 俊彦 君
西南学院大学法学部教授	勢一 智子 君
武蔵大学社会学部メディア社会学科教授	庄司 昌彦 君

【主な質疑項目】

●藤井 一博 君（自民）

自治体情報システムの標準化後に防災・医療等の先進的なプラットフォームを水平展開するための方策
人口減少社会における女性・高齢者の労働力向上に向けた多久市の取組と国の役割

●鬼木 誠 君（立憲）

地方分権の議論を再び喚起していくために必要な工夫や課題提起
計画策定や広域連携における都道府県の役割

●杉 久武 君（公明）

計画行政体系の再設計における評価の視点やサンセット方式での計画規定見直しの在り方
自治体情報システムの標準化が自治体の業務フロー見直しに寄与することへの所見

●音喜多 駿 君（維教）

自治体DX推進計画の重点取組事項のうち自治体情報システムの標準化・共通化を除いて取組状況に課題のある事項
減税等の国による制度改正を受けた地方自治体のデジタル面での負担

●川合 孝典 君（民主）

エストニアの電子政府導入と日本での実現可能性に対する所見
政府の生産性を意識したガバナンス推進のために実践すべき事項

●倉林 明子 君（共産）

デジタル民主主義の負の側面拡大に対し個人を起点としたデジタルな人権を強化する必要性の趣旨
行政計画策定時にジェンダー平等の視点を貫く重要性に対する所見

●大島 九州男 君（れ新）

防災や震災時に連携する姉妹都市の仕組みをつくる計画の必要性
学校施設等を事前に災害時の拠点に指定して初動体制を確保しておく必要性

●高良 鉄美 君（沖縄）

シェアリングエコノミーを市民が理解し取り組むための周知方法
国・都道府県・市町村の計画行政体系の三層構造の下位ほど担当組織が縮小する問題のデジタル活用による解決策

●浜田 聡 君（N党）

自治体DX推進計画等の推進による夜間休日サービスの拡充や人手不足解消への効果
ライドシェアについての一首長としての見解

（参議院ホームページより）